

戦略的な企業誘致と国際展開支援

目指すべき方向性

本市の優位性を活かした企業誘致活動を推進し、財政基盤の強化、雇用の創出、地域経済の活性化を図ります。

また、中小ものづくり企業が市内における研究開発・ものづくり活動を維持しながら事業拡大を図るため、グローバル展開に必要な社内体制の整備や海外販路開拓の支援を行うことで、企業活動の国際化を推進します。

施策名

- 1 戦略的な企業誘致と行政手続きのスピード化・簡素化
- 2 市内中小企業の国際展開支援の拡充

【取組概要】

- ①「さいたま市企業誘致基本方針」に基づき、本市の優位性を活かした企業誘致活動を実施し、財政基盤の強化、雇用の創出、地域経済の活性化を図る。
- ②市内立地企業の継続と計画的な企業誘致を図るため、官民連携による新たな産業集積拠点を創出する。

【目指すもの】

- ①企業誘致について、平成25～34年度における累計100社を目指す。
- ②平成30年度に産業集積拠点整備の竣工を目指す。

(1)平成17～24年度の8年間累計で、99社の誘致を行った。平成25年度末見込みでは、15社を予定している。

(2)産業集積拠点について、平成25年度は、地元権利者との意見交換や勉強会を実施し、事業に対する意向確認を行うとともに、準備組合の組織化に向けた調整を行っている。

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29～平成34年度	平成35年度～
(1)企業誘致	平成25～28年度 (4年間累計 40社)				企業誘致 (6年間累計 60社) 産業集積拠点 整備竣工 (平成30年度)	企業誘致 (10社/年)
(2)産業集積拠点 整備、事業認可の 手続き・決定	地元意向調査、勉強会	準備組合設立・ 業務代行者の決定	同意書の配布・取りまとめ、 市街化編入、事業認可の 手続・決定	事業着手		

【取組概要】

- ①JETRO RIT事業を通じて形成したドイツ産業クラスターとの国際連携を中軸とし、ドイツ・欧州との連携を通じ市内ものづくり企業の技術の高度化を支援し、欧州市場をはじめとする高付加価値市場に対する国際展開支援策を拡充する。
- ②テクニカルブランド企業認証事業を発展させた企業認証・支援制度のもとで、地域経済をけん引するグローバル企業及びグローバルニッチトップ企業の育成支援を行う。

【目指すもの】

- ①②平成26～34年度について、
 - ・ビジネス交流支援件数90件(年間10件×9年)
 - ・海外販路開拓支援件数90件(年間10件×9年)
 - ・国際競争力向上支援件数90件(年間10件×9年)
- の支援件数を目指す。

(1)平成23年から25年10月末までの累計で、ビジネス交流支援を32件行った。

(2)平成25年度実績で、ドイツ展示会に5社の出展を支援した。

(3)認証企業に対する支援体制に関して、グローバル展開、グローバルニッチトップの育成に特化した支援となるよう見直しを行っている。

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29～平成34年度	平成35年度～
2	(1)ドイツ産業クラスターとの交流によるビジネス交流支援(再掲 医療ものづくり都市構想 医療機器の国際連携の強化・拡充) JETRO RIT事業によるドイツ産業クラスターとの交流(平成23年度～)	ドイツ産業クラスターとの交流継続による商談・技術交流支援			ドイツ・欧州企業との商談・技術交流支援	ドイツ・欧州企業との商談・技術交流支援
		欧州におけるビジネス支援体制の検討		現地支援体制の整備		
		ドイツにおける世界規模の展示会等を通じた海外販路開拓支援			海外展示会等を通じた海外販路開拓支援	海外展示会等を通じた海外販路開拓支援
(2)展示会等を通じた海外販路開拓(再掲 医療ものづくり都市構想 医療機器の国際連携の強化・拡充)						
(3)企業認証・支援制度による国際競争力向上支援	テクニカルブランド企業認証事業の見直し	新たな企業認証・支援制度による国際競争力向上支援			新たな企業認証・支援制度による国際競争力向上支援	新たな企業認証・支援制度による国際競争力向上支援
				支援策の検証		